

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第1区分
【発行日】令和7年6月2日(2025.6.2)

【公開番号】特開2025-60656(P2025-60656A)
【公開日】令和7年4月10日(2025.4.10)
【年通号数】公開公報(特許)2025-065
【出願番号】特願2024-215031(P2024-215031)
【国際特許分類】

A 2 3 L 27/00(2016.01)
A 2 3 L 2/60(2006.01)
A 2 3 L 2/00(2006.01)
C 0 7 K 14/415(2006.01)

10

【F I】

A 2 3 L 27/00 1 0 1
A 2 3 L 27/00 1 0 1 A
A 2 3 L 2/60 Z N A
A 2 3 L 2/00 C
A 2 3 L 2/00 B
A 2 3 L 27/00 C
A 2 3 L 2/60
C 0 7 K 14/415

20

【手続補正書】
【提出日】令和7年5月22日(2025.5.22)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i) ブラゼイン又はその類似体と、(ii) モグロシド甘味料及び高果糖コーンシロップから選択される少なくとも1種の追加の甘味料とを含む、甘味料組成物。

【請求項2】

前記少なくとも1種の追加の甘味料が、モグロシド甘味料を含む、請求項1に記載の甘味料組成物。

【請求項3】

前記少なくとも1種の追加の甘味料が、高果糖コーンシロップを含む、請求項1に記載の甘味料組成物。

40

【請求項4】

前記モグロシド甘味料が、シアメノシドI及びモグロシドVから選択される、請求項2に記載の甘味料組成物。

【請求項5】

請求項1に記載の甘味料組成物を含む、飲料又は飲料製品であって、

前記飲料が、液体基質及び請求項1に記載の甘味料組成物を含み、

前記飲料製品が、飲料濃縮物、飲料シロップ、又は水を添加することによってストレートの飲料が調製される粉末化された飲料である、

飲料又は飲料製品。

【請求項6】

50

前記ブラゼインが、1 p p m～5 0 p p mの量で存在する、請求項 5 に記載の飲料又は飲料製品。

【請求項 7】

前記ブラゼインが、1 p p m～4 0 p p mの量で存在する、請求項 5 に記載の飲料又は飲料製品。

【請求項 8】

前記ブラゼインが、1 p p m～3 0 p p mの量で存在する、請求項 5 に記載の飲料又は飲料製品。

【請求項 9】

前記飲料又は飲料製品が、前記甘味料組成物を含有しない飲料又は飲料製品と比較して、向上された少なくとも 1 つの官能特性を有し、前記官能特性が、時間的プロファイル、フレーバープロファイル、食味、苦い後味、甘味持続、食感、及びその組み合わせからなる群から選択される、請求項 6 に記載の飲料又は飲料製品。

10

【請求項 10】

前記向上された少なくとも 1 つの官能特性が、苦い後味の低下又は食感の向上である、請求項 9 に記載の飲料又は飲料製品。

【請求項 11】

前記向上された少なくとも 1 つの官能特性が、食感の向上であり、前記ブラゼインの量が、1 p p m～4 0 p p mである、請求項 9 に記載の飲料又は飲料製品。

【請求項 12】

低カロリー又はノーカロリー飲料又は飲料製品から選択される、請求項 6 に記載の飲料又は飲料製品。

20

【請求項 13】

前記飲料が、コーラ、ジンジャーエール、炭酸飲料、ルートビア、果汁、果物味のジュース、野菜汁、野菜味のジュース、スポーツドリンク、栄養ドリンク、植物タンパク質飲料、ニアウオータードリンク、茶の類、コーヒー、ココアドリンク、及び乳成分を含有する飲料からなる群から選択される、請求項 6 に記載の飲料又は飲料製品。

【請求項 14】

飲料又は飲料製品の少なくとも 1 つの官能特性を向上させる方法であって、請求項 1 の甘味料組成物を、液体基質に添加し、それによって、少なくとも 1 つの向上された官能特性を有する飲料又は飲料製品を提供することを含む方法。

30

【請求項 15】

前記向上された官能特性が、時間的プロファイル、フレーバープロファイル、食味、苦い後味、甘味持続、食感、及びその組み合わせからなる群から選択される、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記向上された官能特性が、苦い後味の低下又は食感の向上である、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記向上された官能特性が、食感の向上であり、前記飲料又は飲料製品中のブラゼインの量が、1 p p m～4 0 p p mの量である、請求項 15 に記載の方法。

40

【請求項 18】

ブラゼインが、1 p p m～5 0 p p mの量で、前記飲料又は飲料製品中に存在する、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 19】

前記ブラゼインが、1 p p m～4 0 p p mの量で、前記飲料又は飲料製品中に存在する、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 20】

前記ブラゼイン類似体が、少なくとも 1 つのアミノ酸で、野生型のブラゼインと異なる、請求項 1 に記載の甘味料組成物。

50

【請求項 2 1】

前記ブラゼイン類似体が、Asp 40 Lys、Glu 41 Ala、Lys 42 Ala、Asp 50 Lys、Tyr 54 Trp、Asp 29 Ala、Asp 29 Asn / Glu 41 Lys、及び Asp 29 Lys / Glu 41 Lysのうち、少なくとも1つのいずれかを有する、請求項 2 0 に記載の甘味料組成物。

【請求項 2 2】

前記ブラゼインが、配列番号 1 のアミノ酸配列を有する、請求項 1 に記載の甘味料組成物。

【請求項 2 3】

前記ブラゼインが、p Glu - ブラゼイン又は des - p Glu 1 - ブラゼインである、請求項 1 に記載の甘味料組成物。

10

【請求項 2 4】

有機酸のナトリウム、カルシウム、カリウム、又はマグネシウム塩である、少なくとも1種の有機酸添加物をさらに含む、請求項 5 に記載の飲料又は飲料製品。

【請求項 2 5】

前記有機酸が、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、フマル酸、乳酸、アルギン酸、アルギン酸、アスコルビン酸、安息香酸、及びアジピン酸からなる群から選択される、請求項 2 4 に記載の飲料又は飲料製品。

【請求項 2 6】

前記少なくとも1種の追加の甘味料が、モグロシド甘味料を含む、請求項 1 4 に記載の方法。

20

【請求項 2 7】

前記少なくとも1種の追加の甘味料が、高果糖コーンシロップを含む、請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 2 8】

前記モグロシド甘味料が、シアメノシド I 及びモグロシド V から選択される、請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 2 9】

前記ブラゼイン類似体が、少なくとも1つのアミノ酸で、野生型のブラゼインと異なる、請求項 1 4 に記載の方法。

30

【請求項 3 0】

前記ブラゼイン類似体が、Asp 40 Lys、Glu 41 Ala、Lys 42 Ala、Asp 50 Lys、Tyr 54 Trp、Asp 29 Ala、Asp 29 Asn / Glu 41 Lys、及び Asp 29 Lys / Glu 41 Lysのうち、少なくとも1つのいずれかを有する、請求項 2 9 に記載の方法。

【請求項 3 1】

前記ブラゼインが、配列番号 1 のアミノ酸配列を有する、請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 3 2】

前記ブラゼインが、p Glu - ブラゼイン又は des - p Glu 1 - ブラゼインである、請求項 1 4 に記載の方法。

40